部課名	下水道部下水道経営総務課
課の使命	・市民に安全で衛生的な生活環境を提供するために、下水道事業の進捗管理を行い、効率的で健全な下水道事業経営を行います。 ・下水道部各課の情報を迅速に共有し、関係部署との調整を行い、部内の円滑な業務遂行を図ります。

実行計画（年度目標）

	年度目標設定					中間確認			年度末確認				
順位	取組項目	計画類型	具体的な活動内容	指標	目標値	進捗状況	上半期の状況や評価	下半期の予定	1年間の総括	目標値に対する実績値	評価	評価の視点	課題と対応
1	持続可能な下水道事業を実現に向けた経営基盤の強化と財政マネジメントの向上	経営改革プラン	「未来につなぐ下水道事業プラン」のモニタリング（投資財政計画の実施・進捗に関する測定）評価分析を行います。 具体的には、2021年度の決算値に基づき、以下の指標に基づく経営分析、2022年度の事業の進捗確認します。 ＜重要業績評価指標項目＞ ①財務の視点 ②顧客の視点 ③内部プロセスの視点 ④組織学習の視点	モニタリング評価分析の実施	実施								
2	下水道BCP（下水道事業継続計画）等の災害対応計画に基づく管理・運用及び訓練や研修の実施	個別計画	下水道事業継続マネジメント部会を開催し、災害時対応等について検討します。大規模災害が発生した場合でも、下水道が果たすべき機能を速やかに、かつ高レベルで確保するため、部内で訓練や研修を実施します。	訓練や研修の実施回数	4回								
3	経営意識及び知識の向上	個別計画	下水道事業の基本的な知識を身に付けるため、新入職員及び異動職員に向けた部内研修を実施します。 また、部内職員に向け、公営企業会計及び経営の理解を深める研修を実施します。	部内研修の実施回数	2回								

	年度目標設定					中間確認			年度末確認				
順位	取組項目	計画類型	具体的な活動内容	指標	目標値	進捗状況	上半期の状況や評価	下半期の予定	1年間の総括	目標値に対する実績値	評価	評価の視点	課題と対応
4	下水道事業に関するPRの推進	個別計画	下水道の仕組みなどについて、ホームページ上での説明、下水道広報紙の発行等により、下水道事業に関するPRを行います。	市民などへの情報発信回数	5回								
5	ワーク・ライフ・バランスの実現に向けた業務の効率化	―	特定の職員に業務が集中しないよう、業務の見える化や分散化を図るとともに、業務の見直しを行います。	見直し業務数	2業務								

部課名	下水道部下水道整備課
課の使命	・浸水被害を軽減するために、雨水管の整備を促進し、安心できる住環境を実現します。 ・大規模地震が発生した場合でも、下水道施設（管きょ等）の被災による交通障害を未然に防ぐと共に、衛生的な住環境を確保します。 ・計画的に改築更新を行い、道路陥没等の事故を未然に防ぎます。 ・より快適で衛生的な暮らしができるよう、汚水管未整備地区の解消に取り組みます。 ・供用開始区域内の公共下水道への接続推進により、お客さまの衛生的な住環境を実現します。 ・浄化槽設置者又は使用者に、浄化槽の保守点検、清掃及び法定検査を促すことで、適正な水環境を維持します。 ・浄化槽に関する様々な申請を電子化することでお客様が申請を簡単にできるようにします。

実行計画（年度目標）

	年度目標設定					中間確認			年度末確認				
順位	取組項目	計画類型	具体的な活動内容	指標	目標値	進捗状況	上半期の状況や評価	下半期の予定	1年間の総括	目標値に対する実績値	評価	評価の視点	課題と対応
1	安心して住める住環境の整備	重点事業プラン	浸水被害を軽減するために、雨水幹線や枝線の工事を行います。	浸水対策事業における対策箇所数	2箇所								
2	総合地震対策整備事業（緊急輸送路等に布設され、かつ液状化の可能性の高い雨水菅の耐震化）	重点事業プラン	緊急輸送路等に布設され、かつ、軟弱地盤に埋設され液状化の可能性が高い雨水菅の耐震診断を行います。	耐震診断率	40%								
3	総合地震対策整備事業（マンホールトイレの設置）	個別計画	マンホールトイレ整備事業計画に基づき避難施設にマンホールトイレの設置を行います。	設置施設数	6施設								

	年度目標設定					中間確認			年度末確認				
順位	取組項目	計画類型	具体的な活動内容	指標	目標値	進捗状況	上半期の状況や評価	下半期の予定	1年間の総括	目標値に対する実績値	評価	評価の視点	課題と対応
4	計画的な改築更新の推進	個別計画	下水道施設の予防保全型維持管理を計画的に行うため、【第1期】管路修繕・改築計画をもとに、詳細設計を発注し、次年度の改築工事に向けて準備をします。	詳細設計	完了								
5	汚水管と合併処理浄化槽を併用した汚水処理の推進	個別計画	市街化区域においては汚水管未整備地区の整備、市街化調整区域においては汚水管接続と合併処理浄化槽への切り替え促進の併用により、水洗化率の向上を目指します。	町田市全人口のうち公共下水道への接続や合併処理浄化槽での汚水処理をしている人口の割合	99.47% (累計)								
6	電子申請の利用促進	個別計画	業務の時間短縮を図るため、浄化槽利用世帯に対して「浄化槽使用開始報告書」や「浄化槽管理者変更報告書」等の電子申請の案内を配布します。 また、今年度より「浄化槽維持管理費補助金」の電子申請も開始することで電子申請の利用を更に促進させます。	電子申請数	60件								
7	課の業務に関する知識や情報を課内で共有	個別計画	課内業務全体を把握できるよう、各係の業務内容の中から、テーマを決めて勉強会を行います。	課内勉強会の開催回数	3回								

部課名	下水道部下水道管理課
課の使命	「水」が滞りなく流れるよう予防保全型の維持管理を進め、安定的な機能確保を図り、啓発活動を通じて市民の皆様とともに「良好な水環境」を次世代につなげます。 ・下水道施設(管きょ等)、水路等の維持管理を適切に行います。 ・下水道施設(管きょ等)の修繕を行うことで、下水道施設の老朽化に対応します。 ・調整池の貯留機能を維持し、浸水被害を軽減します。 ・浸水被害を防ぐため、豪雨前のパトロールを行い、被害を軽減します。 ・下水道施設(管きょ等)、宅内排水設備の適切な設置を指導します。 ・職員が仕事内容を共有し、仕事の理解力を向上します。 ・適正に下水道台帳を閲覧できるようにします。

実行計画(年度目標)

	年度目標設定					中間確認			年度末確認				
順位	取組項目	計画類型	具体的な活動内容	指標	目標値	進捗状況	上半期の状況や評価	下半期の予定	1年間の総括	目標値に対する実績値	評価	評価の視点	課題と対応
1	ストックマネジメント(※)による下水道事業の推進 (※ストックマネジメント:良好な下水道サービスを継続的に提供するための事業運営)	個別計画	下水道施設の予防保全型維持管理を計画的に行い、今後増大する維持管理コストの平準化を図るため、基本計画に基づき、「町田市下水道管路施設資産管理第2期調査実施計画」による点検・調査を行います。	点検・調査延長	54km								
2	下水道管の腐食の恐れがある箇所の点検の実施	個別計画	硫化水素等による下水道管きょの腐食の恐れがある箇所について定期的な点検を行います。	点検箇所数	28箇所								
3	水路台帳の作成	個別計画	水路の修繕計画策定に活用するため、2016年度から2021年度に行った水路の現況調査成果を基に、市内全域の水路約197kmについて位置や構造など基本的な情報を集約・集計した水路台帳を作成します。	水路台帳の作成	完了								
4	グリーストラップの適正な維持管理方法の周知	個別計画	油脂の流出による汚水管の閉塞を防ぐために飲食店などを訪問し、グリーストラップの点検、清掃などの適正な維持管理方法を周知していき、油脂を起因とした詰まりによる管清掃延長を減らします。	管清掃延長	4.00km以内								

	年度目標設定					中間確認			年度末確認				
順位	取組項目	計画類型	具体的な活動内容	指標	目標値	進捗状況	上半期の状況や評価	下半期の予定	1年間の総括	目標値に対する実績値	評価	評価の視点	課題と対応
5	（業務効率化） 現場調査等に掛る人員の削減	個別計画	現場調査に出かける際には、同じ方向や同じ地域の場合は、他係の業務に関する現場であっても、代わって調査を行うことで、調査に掛かる人員を削減します。	調査人員削減数	延べ60人								
6	（業務改善） 課内研修の実施	個別計画	課全体での協力体制のもとに効果的・効率的な業務を推進するために、職員が身に付けるべき内容を検討し研修を実施します。	課内研修の実施	1回								

部課名	下水道部水再生センター
課の使命	・下水処理施設の計画的な点検・調査・改築更新の実施、耐震化の促進により施設の機能を維持することで、市民が快適に生活できる環境を整えます。 ・再生可能エネルギーの活用や下水の高度処理の導入など、環境負荷の少ない処理場運営を進め、地球環境の保全と循環型社会へ貢献します。

実行計画（年度目標）

	年度目標設定					中間確認			年度末確認				
順位	取組項目	計画類型	具体的な活動内容	指標	目標値	進捗状況	上半期の状況や評価	下半期の予定	1年間の総括	目標値に対する実績値	評価	評価の視点	課題と対応
1	成瀬クリーンセンターの耐震化	重点事業プラン	2021年度から行っている成瀬クリーンセンター沈砂池ポンプ棟耐震補強工事の完了を目指します。また、汚泥処理棟耐震補強工事（2022～2024年度）に着手します。	耐震化率	72.4%								
2	鶴見川クリーンセンターの耐震化	重点事業プラン	【町田市下水道総合地震対策計画（第3期）】に基づき、鶴見川クリーンセンターの耐震診断を実施します。	診断	完了								
3	鶴川ポンプ場の耐震化	重点事業プラン	【町田市下水道総合地震対策計画（第3期）】に基づき、鶴川ポンプ場の耐震診断を実施します。	診断	完了								

	年度目標設定					中間確認			年度末確認				
順位	取組項目	計画類型	具体的な活動内容	指標	目標値	進捗状況	上半期の状況や評価	下半期の予定	1年間の総括	目標値に対する実績値	評価	評価の視点	課題と対応
4	ストックマネジメント計画　（第Ⅱ期）に基づいた下水道事業の推進	個別計画	ストックマネジメント計画（第Ⅱ期）に基づいて詳細調査を行い、設備の劣化状況、重要度に応じた修繕計画を進めることで、維持管理コストの平準化を図っていきます。	詳細調査の件数	10件（第2期累計10/50件）								
5	下水処理水の水質向上	個別計画	下水処理施設の高度処理化（※）を推進するため、2021年度から実施している高度処理技術に関する自主研究を引き続き実施します。 ※高度処理：標準的な方法に比べ、窒素やりんをさらに取り除くことができる処理方式（窒素：20mg/L以下、りん:3mg/L以下）	下水処理量の高度処理化率	30%以上								
6	安全対策の推進	個別計画	安全対策に関する意識を向上させる目的で、職員に対し研修を実施し、安全対策に関する専門的知識・技能を習得します。	研修の実施回数	2回								
7	新型コロナウイルス感染症を踏まえた町田市下水道事業継続計画（BCP）【新型インフルエンザ等編】の周知、検証及び見直し	—	2021年度に策定した新型コロナウイルス感染症を踏まえた町田市下水道事業継続計画（BCP）【新型インフルエンザ等編】について、実際に運用をしながら、検証及び見直しを進めます。また、計画についての理解を深めるための研修を実施し、計画の実行性を高め、感染症流行下でも安定した施設運営ができるようにします。	研修の実施回数	1回								

	年度目標設定					中間確認			年度末確認				
順位	取組項目	計画類型	具体的な活動内容	指標	目標値	進捗状況	上半期の状況や評価	下半期の予定	1年間の総括	目標値に対する実績値	評価	評価の視点	課題と対応
8	業務手順の見直し、電子化	—	業務効率を向上させるため、業務手順を見直し、電子化を進めます。	見直し業務数	2業務								